

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	腹腔洗浄細胞診陽性と診断された膵がん症例に関する後ろ向き観察研究
	研究目的	<p>腹腔洗浄細胞診陽性と診断された膵がん症例に対する治療方針は様々であり、その治療内容や成績は明らかではありません。また頻度が少なく標準治療を確立することは困難でした。</p> <p>今回の研究では、腹腔洗浄細胞診陽性膵癌症例における治療内容及び治療成績を明らかにすることと、腹腔洗浄細胞診陽性と診断された膵癌切除症例に対する術後治療は『何を』『いつまで(期間)』行うのが適しているか明らかにすることを目的としています。</p> <p>研究の対象となるのは2007年1月～2015年12月に開腹術または腹腔鏡検査にて腹腔洗浄細胞診陽性と診断された膵がんの方です。</p> <p>開腹術または腹腔鏡検査にて腹腔洗浄細胞診陽性と診断された患者さんの診療録から必要な情報を事務局で収集し、解析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。</p> <p>いずれのデータも、すでに実施された検査から得られるものであり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経済的負担をかけたりすることはありません。情報の保管は研究責任者、および研究事務局が責任を持って行います。本研究に関する利益相反はありません。研究実施期間は約3年間です。</p> <p>この研究によって、腹腔洗浄細胞診陽性膵がん症例における治療内容及び成績を明らかにし、最適な治療方針を検討することが明らかとなることが期待され、本研究の社会的意義は大きいと考えられます。</p>
	研究期間	西暦 2018 年 6 月 1 日 ～ 西暦 2021 年 2 月 21 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	静岡県立静岡がんセンター 消化器内科 福富 晃
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科・消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	大阪医療センター 肝胆膵外科 濱 直樹 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器内科 堀口 繁 香川大学医学部附属病院 腫瘍内科 奥山 浩之 神奈川県立がんセンター 消化器外科 森永 聡一郎 関西医科大学附属枚方病院 外科学講座 廣岡 智 九州がんセンター 肝胆膵外科 杉町 圭史 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵外科 奈良 聡 国立がん研究センター東病院 肝胆膵外科 小西 大 埼玉県立がんセンター 消化器外科 坂本 裕彦 四国がんセンター 消化器内科 浅木 彰則

	<p>静岡県立静岡がんセンター 消化器内科 戸高 明子 自治医科大学 外科学 消化器外科学部門 三木 厚 聖隷浜松病院 消化器内科 室久 剛 帝京大学医学部附属病院 外科学講座 和田 慶太 東海大学医学部 消化器外科 中郡 聡夫 東京女子医科大学 消化器外科 樋口 亮太 東北大学病院 肝胆膵外科 元井 冬彦 栃木がんセンター 肝胆膵外科 白川 博文 兵庫県立がんセンター 消化器内科 津村 英隆 新潟県立がんセンター 内科 塩路 和彦 山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 松井 洋人</p>
--	--